

平成24年度川越市防災訓練を実施しました

防災危機管理課 0224-5554

8月19日に本庁管内9か所の市立小・中・高校において避難所開設運営訓練を実施。同時に市役所本庁舎などでは情報伝達訓練を実施しました。2つの訓練を同時平行して行うことは、初めての取り組みです。いざという時に迅速で的確な行動をとるために、こうした訓練を定期的に行い、問題点を解決しておくことが大切です。



避難所に向かう市民の皆さん

概要

首都直下型地震が発生。川越市で観測された揺れは「震度6弱」という想定で、避難所に集まった市民の皆さんと市職員が協力して避難所の開設を行いました。同時に市役所庁舎内で、災害対策本部の設置や各協



参加者が中心となり避難所の開設に取り組みます



災害備蓄庫を見学



給水車が到着

定先との情報伝達を実施しました。
避難所開設運営訓練

自治会の協力のもと、773人の市民の皆さんが参加。避難所の開設から運営までを参加者が中心となつて行いました。

それぞれの避難所には、自治会ごとに移動。市職員と合流し避難所の開設にとりかかりました。また、避難所に集まった方の名簿を作成し、備蓄品の配布、けが人等の報告をするなど、災害時に避難所で生じる事態を想定した訓練が行われました。

参加した三久保町の自治会長・田井欽一さん(72歳)は「具体的な想定でもっと参加者が自主的に動く必要があると感じました。井戸のポンプを実際に操作できるとよかったです」。また、訓練には外国籍市民会議の委員も参加。感想を聞くと「今回参加したことでおまかな流れが分かりました。避難所の標識など、外国人向けに工夫が必要だと感じました」とクリスブリュンガーさん(60歳・宮下町)。

情報伝達訓練

市役所庁舎内の災害対策本部には、市職員173人が自主参集。建設復旧部や医療衛生部などの各部門に分かれ、道路等の被害情報の収集を行いました。また警察や消防の



情報収集にあたる市職員

た。訓練では、電話が一時使えないという想定で、無線による報告や自転車を使った伝令も行われました。避難所の参加者からは、発信した情報が災害対策本部でどのように収集されているのか、また、ほかの避難所の情報が分からないなどの声もあり、課題が残りしました。

今後の取り組み

今後市では、訓練を通じて明らかになった課題や問題点を集約し、防災対策の改善を図っていく予定です。また、いざという時に冷静に行動できるように、定期的な防災訓練の実施や必要な情報の発信をしたいと考えています。

今回の訓練は、本市では初の試みでしたが、自治会をはじめ関係機関の皆さんのご理解とご協力をいただき実施することができました。ありがとうございました。